



2026冬号

Vol.
014



令和8年、2026年がスタートしました。今年も「やんぱく」では、ふだんの展示の魅力を伝える活動はもちろん、様々なイベントや体験学習などを通して、歴史や文化に楽しく親しんでもらえる機会を増やしていきたいと考えています。1～2月は「やんぱく講座」（全4回）、多彩なテーマを用意して、ご参加お待ちしております！



スケジュール

詳細はHPでご確認ください。【お問い合わせ／お申し込み：0279-82-5150】

	特別展示・イベント	その他
1月	<h3>「やんぱく講座」～見て 知って 学んで ながのはら～</h3> <p>毎冬恒例の座学の講座。今年度は外部の講師も招いてますます充実！</p> <div>1/24 (土) 史料から読み解く 近世の長野原</div> <div>1/31 (土) 私が発掘した ハッ場の遺跡</div> <div>2/7 (土) 「續膝栗毛十一編 上」を読もう</div> <div>2/14 (土) 「上毛かるた」と 「天明泥流」</div>	
2月		
3月	<p>【あなたもサポーターになってみませんか！？】</p> <h3>「第3期ミュージアムサポーター 養成講座」</h3> <p>展示解説などミュージアムの活動を支えるサポーターを募集します。</p> <p>1月下旬～受付 3/7(土) 開催</p>	

施設案内

アクセス

周遊バス「ハッ場ぐるりん」もご利用ください

開館

9:00～16:30
(最終入館 16:00)

休館日

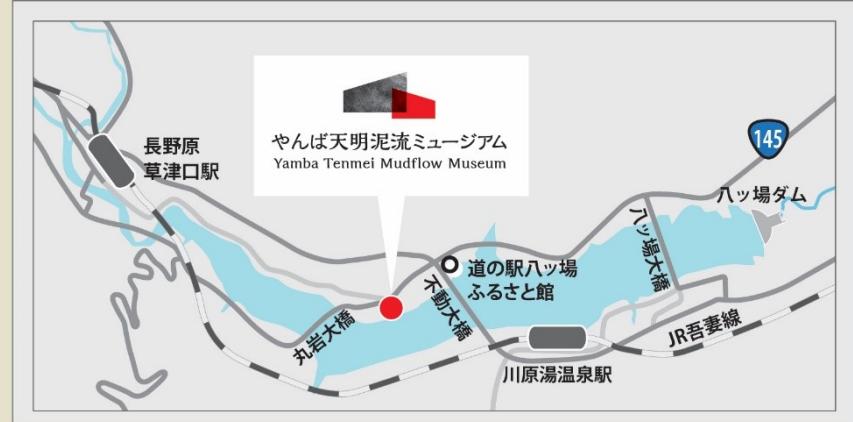
水曜日
※水曜が祝日・振替休日の場合はその翌日
※年末年始

入館料

一般：600円（500円）
小・中学生：400円（300円）
※（ ）内は15名以上の団体割引料金 ※町民無料

お問い合わせ

TEL:0279-82-5150 FAX:0279-82-5152
群馬県吾妻郡長野原町大字林1464-3



2026(令和8)年は午年…ということで、当館の展示のなかからウマにまつわる部分をご紹介。江戸時代のハッ場の人々にとってウマは運搬・移動・耕作に欠かせない大切な存在でしたが、それはガイダンスコーナーにある東宮遺跡1号屋敷のジオラマを見てよくわかります。この屋敷には人々が暮らす母屋の土間の一部に、ウマ5頭分のウマヤがあったことが発掘調査で確認されています。

す。さらにこの家に伝わる口承に、天明噴火の際、「大切な酒(この家では酒造りもしていました)をウマ5頭につけて逃げた」という話があり、ウマヤの数ともぴったり合います。人とウマはひとつ屋根の下ともに暮らし、災害時もともに生き延びたのです。(藤野)



ミュージアム
私のイチオシ！



高平 正美
(ミュージアム職員)

当館の常設展示室の中の「よみがえる人々のくらし」というコーナーに、江戸時代の「搾油器」の展示(出土品とレプリカ)があります。このレプリカを使用して、職員が実際にエゴマ100gから油の抽出実験をしました。(すりこぎで擦るため汗だくになりながら!) 採取した油を灯明皿に移し、芯を油に浸して、その後芯の先を皿の外に出し、そこに火を点けて、行灯にセットして、江戸時代の明るさを体験…、ほの暗い明かりでした。当時の人々が大変な思いをして“灯”を身近にした情景が思い浮かびました。現在ではスイッチひとつで明かりが手に入りますが、先人の苦労を思い、感謝感謝で頭が下がりました。



子どもたちの搾油体験の様子

郷土玩具 キジグルマをつくろう！

12月に開催したキッズデーでは、長野原町に伝わる郷土玩具「キジグルマ」をつくるワークショップを開催しました。当日は小学生から大人までの参加者が、木を削り、色を塗り、車輪をつけて、それぞれ個性的なキジグルマのミニチュアを完成させました！町内の中央小学校3年生の図工の授業でも同様の体験学習をおこない、子どもたちに伝統行事に触れてもらう活動をおこなっています。



お知らせ

第3期ミュージアムサポーターを募集します！

来年度で立ち上げから5年目を迎えるミュージアムサポーターの会。来年度から活動していただく新規サポーターを募集します。サポーターの活動は、館内の展示解説やイベント・ワークショップの運営補助、草刈り・植栽などの美化活動など、あなたの特技や経験を生かして活動して頂けます。ご応募お待ちしております！